

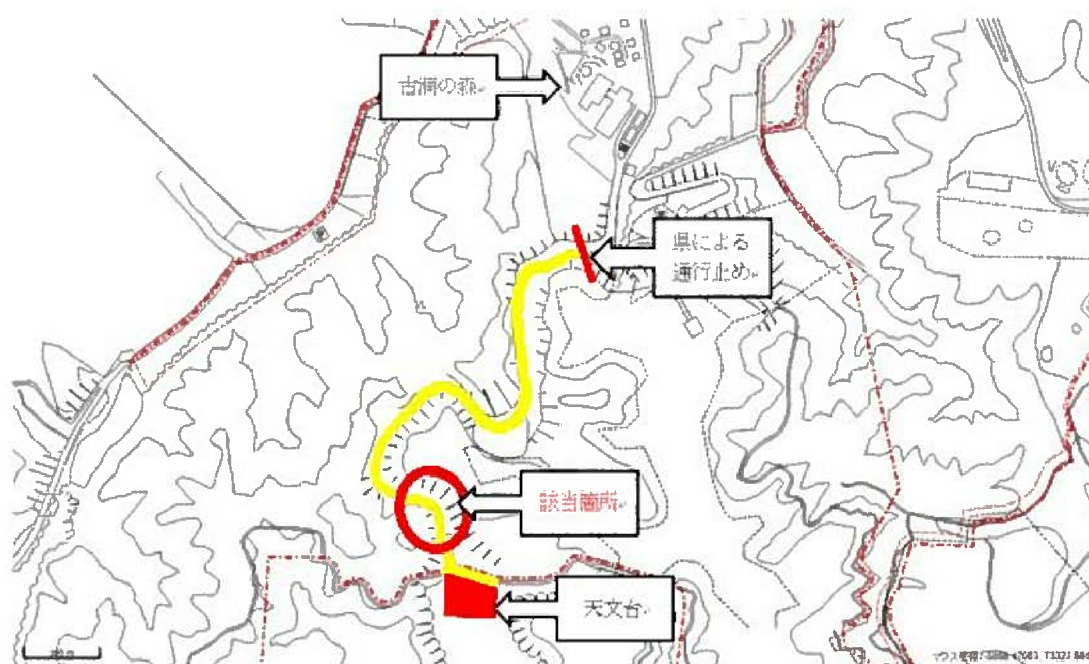
天文台の臨時休館について

【科学博物館】

1 内 容

9月4日の台風21号の通過やその後の大雨の影響で、古洞池駐車場から天文台までの遊歩道脇の斜面が大きく崩落し、道路及び路肩の土の部分に亀裂が発生した。今後の雨でさらなる崩落が起こるおそれがあるため、天文台を臨時休館とするもの。

なお、遊歩道は、県民公園「野鳥の園」入口から天文台等に至る管理用道路である。



2 臨時休館期間

9月11日から通行の安全が確保されるまで、天文台を臨時休館するもの。

[遊歩道の陥没箇所]

長さ約17m、幅約10cm、約60cm深の亀裂及び約15cmの陥没



[陥没した遊歩道の下側斜面崩落箇所]

幅約50m、高さ約30mにわたり崩落



企画展

人やものを運ぶ

— 山岳地域の物流 —

常願寺川山間地域の道や鉄道のあゆみを紹介します。

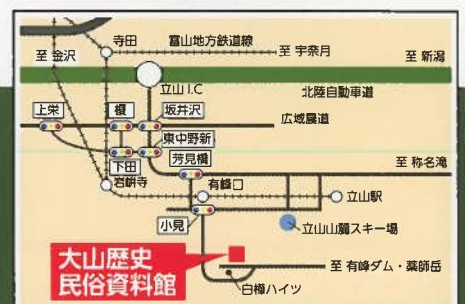


常願寺川に架かる千垣橋梁を渡る電車

期 間 平成30年
9月22日(土)~12月16日(日)

【関連講座】

演 題 / 「常願寺流域の鉄路を巡って」
 講 師 / 草 卓人さん(地域交通史研究家)
 期 日 / 11月23日(金) 10:00~12:00
 会 場 / 大山歴史民俗資料館
 申 込 / 11月20日(火)までに電話、はがき、FAXで当館へ



富山市大山歴史民俗資料館

富山市龜谷1番地 TEL 481-1415・FAX 481-1417

開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）

入館料：大人100円 高校生以下は無料

休館日：月曜日、祝日の翌日

(写真)「越中樽俣郡田中郷下之名採品図・
富山近郊採品写生図」より
(株式会社廣貴堂 廣貴堂資料館所蔵)

富山市売薬資料館

特別展

その他 16

富山藩の 薬草・植物画

平成30年

10月6日(土)～11月25日(日)《会期中無休》

■開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

■観覧料 大人 100円 (20名以上団体90円) / 民俗民芸村7館共通券 大人 520円 (団体410円)
<高校生以下の観覧は無料>

特別展記念講演会

講師 田中 純子 氏 (練馬区立牧野記念庭園記念館 学芸員)

「関根雲停の植物画—雲停を愛した前田利保と牧野富太郎」

平成30年10月27日(土) 13:30～15:00

民俗民芸村管理センター講座室にて(このあと売薬資料館にて展示解説会)

富山市売薬資料館

特別展 富山藩の薬草・植物画

富山藩は売薬業が盛んで、江戸時代中期には日本全国に商売範囲を拡げていました。材料となる薬種は主に越中国内外の交易によって仕入れ、藩内で製薬して行いました。売薬業に必要な量の薬種を、藩内で生産してはいませんでした。採集できる薬草は把握されてきたとみられません。また加賀藩によって越中国内の薬草の調査が行われていました。

特に薬草に興味を持ったのは、富山藩十代藩主前田利保公で、藩内や各地の薬草・植物を精力的に採集・調査し、一部栽培も行わせています。実際の薬種の栽培と生産、続けて製薬へと直結させるには残念ながら至りませんでした。しかし利保公は旺盛な探究心と行動力によって、調査した内容を多くの著作物に書き記し、後世に残しました。

本展では越中国内、主に富山藩で採集された薬草を描いた薬草・植物画を、利保公の編著を中心に紹介いたします。また、利保公は江戸で関根雲停という絵師を重用し、植物画を大量に描かせました。写真ですが、この雲停の画も展示します。

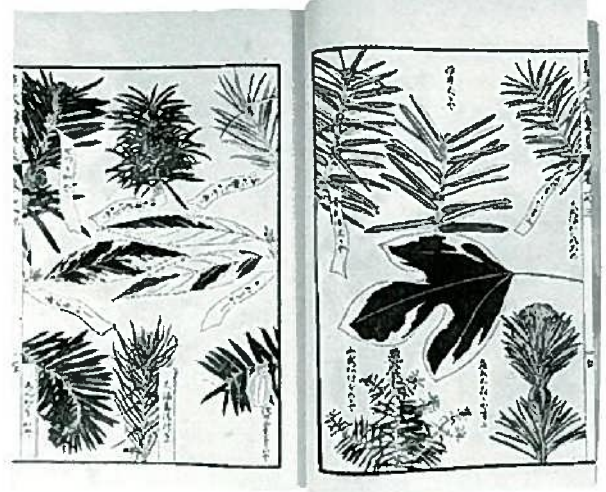
植物の状態をくまなく伝えようと、細部まで描き込まれた画をどうぞご覧ください。



「本草図譜」より（富山県中央植物園所蔵）



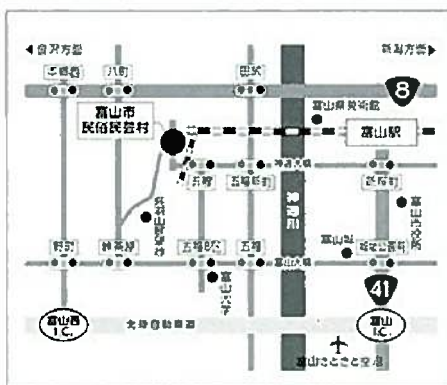
「本草通串証図」より（富山県立図書館所蔵）



「草木銘薬集」より（富山県中央植物園所蔵）

展示解説会 10月6日(土)・11月11日(日) 両日とも13:30～(申込不要、要観覧料)
10月27日(土)は講演会後 15:30頃～

■ 案内図



富山市民俗民芸村 同時期開催展示

- ・民芸館・民芸合掌館 企画展「100年愛用のモノ」(~11/18)
- ・眞牛人記念美術館 館蔵品展115「市民コレクション 盤若一郎と眞牛人」(~11/14)
- ・考古資料館 企画展「山と鉱山遺跡」(~12/16)
- ・陶芸館 企画展「越中瀬戸焼・小杉焼・越中丸山焼
—富山城下町出土資料からの視点を加えて—」(~11/28)
- ・民俗資料館 企画展「米騒動の時代とその暮らし」(~12/2)

■ 交通案内

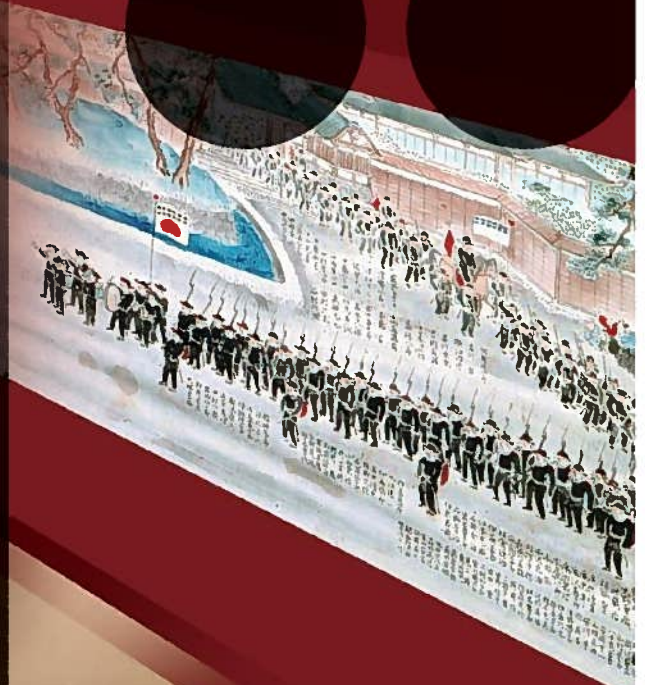
車/JR富山駅から約10分 富山ICから約20分(駐車場無料)
バス/地鉄バス 富山駅前①のりばから奥羽山老人センター行き富山市民俗民芸村下車
*市内周遊ぐるっとBUS 富山駅前②のりばから北西回リルート 民俗民芸村下車

富山市売薬資料館 (富山市民俗民芸村内)

〒930-0881 富山市安養坊980 (富山市民俗民芸村内) TEL&FAX (076) 433-2866
<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/minzokumingei/>

特別展

幕末動乱と富山藩



七士國事談



花巻退治



平成30年
9月15日[土] ▼ 11月11日[日]

会期中無休

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 大人400円(320円)、高校生以下は無料

※(内)は、20名以上の団体料金

主 催 富山市・富山市教育委員会

※10月15日(月)から一部資料の展示替えを行います。

富山県富山市土藩之図 富山県立図書館蔵 展示期間10月14日まで / 奥州出陣図 個人蔵・10月15日から場面替 / 伏木浦船渡来件 富山市伏木公園書庫蔵 / 越前松島山勢雄略 富山県蔵・10月15日から場面替



富山市郷土博物館
TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

嘉永六年（一八五三）ペリーの艦隊が浦賀に来航し、開国と通商を要求したことを機に、日本は幕末の動乱期に入りまし
た。これをきっかけに、各地で攘夷派と開国派、倒幕派と佐幕派
など様々な対立を生み、混沌とした時代が続いていくのです。
この時代、倒幕を主導し、いわゆる「雄藩」と称される薩摩藩や
長州藩、また幕府方として最後まで戦った会津藩などは様々な
場面で数多く語られてきました。

特別展

幕末動乱と富山藩

それでは、この当時の富山藩はどのような状況だったので
しょうか。安政四年（一八五七）には、お家騒動に端を発して本
藩である加賀藩の介入を招いたのみならず、元治元年（一八六
四）には藩士による家老暗殺事件が起きるなど、先行きが不透
明な情勢にありました。また、安政六年には富山湾に異国船が
出没しており、外国の脅威は他人事ではなくなっていたのです。
そして慶応四年（一八六八）、鳥羽伏見の戦いによって戊辰戦争
が勃発、これを機に本藩が新政府側についてからは富山藩もそ
れに従い、出兵した越後では熾烈な戦いを繰り広げ、さらには
南会津や庄内にまで転戦しました。日本の大きな変革期に、富
山藩も確かにその渦中にあつたのです。明治改元百五十年を迎
え、本展では残された資料から幕末動乱期の知られざる富山
藩の動静を紹介いたします。



官軍錦裂 **初公開**
(個人蔵)



伏木浦異船渡来一件
(富山市立伏木図書館蔵)



奥越出兵図屏風 澁原の戦い(部分)
(個人蔵)

展示期間【場面】
大小泉の戦い 9月15日～10月14日 / 澁原の戦い 10月15日～11月11日



日之御門等御警衛二付伺届等調書
(富山市立図書館蔵)



慶応三年京都警衛出兵記録 **初公開**
(当館蔵・平成23年度新取蔵)

特別展「幕末動乱と富山藩」を より楽しむための特別公開講座

日時：10月21日(日)午後2時～3時30分
会場：富山市民プラザ 3階 AVスタジオ(富山市大手町)
定員：先着80名(事前申込不要) 参加費：無料
講師：浦畑奈津子(当館学芸員)

学芸員による展示解説会

9月30日(日)、10月14日(日)、11月11日(日)
各日 午後2時より
申込不要・参加無料(本展の観覧券が必要です)

■アクセス

北陸新幹線・あいの風とやま鉄道 富山駅から徒歩約10分
地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分
市内電車環状線「国際会議場前」下車 徒歩3分
富山空港より連絡バスで20分
北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。
最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/

江戸時代初期の 茶の湯



高取茶碗 銘 香具山
公益財団法人野村文華財団
野村美術館蔵



仁清
長肩衝茶入 銘 存命
公益財団法人野村文華財団
野村美術館蔵

2018
10.6 [土] → 11.4 [日]
会期中無休

開館時間 / 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

観覧料 / 一般 500円(400円)
高校生以下無料
※()内は、20名以上の団体料金

主催 / 富山市教育委員会
(富山市佐藤記念美術館)



古天命猿摘釜
金沢市立中村記念美術館蔵

富山市佐藤記念美術館

〒930-0081 富山市本丸1-33(富山城址公園内)
TEL.(076)432-9031 FAX.(076)432-9080



江戸時代初期の 茶の湯

開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
 観覧料 / 一般500円(400円) 高校生以下無料
(※) 内は20名以上の団体料金
 主 催 / 富山市教育委員会(富山市佐藤記念美術館)



青磁砧形花生 伝 修内司窯
金沢市立中村記念美術館蔵



古伊賀耳付花生
金沢市立中村記念美術館蔵



彫三鳥茶碗 銘 池水
公益財団法人野村文華財団 野村美術館蔵



唐物肩衝茶入 蒲生肩衝
金沢市立中村記念美術館蔵



金森宗和 茶杓
個人蔵



呉器茶碗 銘 宗和呉器
公益財団法人野村文華財団 野村美術館蔵

2018
10.6 [土] → **11.4** [日]
 会期中無休

江戸時代初期に位置する寛永文化は、茶の湯の歴史の中でも華やかな世界です。安土桃山時代に千利休により確立された茶の湯は、古田織部や細川三斎へと伝わりました。江戸時代になって、織部の弟子であり、幕府の作事奉行として多くの建築や造園に携わった小堀遠州は、武家の茶をおすすめ、「綺麗さび」と呼ばれる美意識がうまれました。

一方、京の都では、自由な交流が茶の湯を通して展開され、後水尾天皇を中心とした宮中・公家や、本阿弥光悦などの上

層町衆の中に文化サロンが生まれ、それらの広い階層に支持されていた金森宗和もまた公家の茶というべき優美繊細な茶の湯を展開させています。また利休のわび茶を継承した千宗旦は、正しく千家の茶の湯を確立させました。

この展覧会では、「寛永文化」に象徴される江戸時代初期に視点をすえ、ゆかりの道具によりその時代の茶の湯を俯瞰して、さまざまに展開し広がりを見せる茶の湯の世界を楽しんでいただく機会となれば幸いです。

特別展を
たのしむための講座

10月27日(土) 午後2時より ※聴講無料
 場所 富山市佐藤記念美術館講堂
 講師 石黒 千香子(当館学芸員)

展示解説会

10月20日(土)・11月4日(日)
 午後2時より 展示室にて ※要観覧料

アクセス

- ・富山駅から徒歩15分
- ・地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分
- ・くるととBUS「城址公園」下車 徒歩2分
- ・市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分
- ・富山空港より連絡バスで20分
- ・北陸自動車道 富山I.C.より車で15分

◎当館に駐車場はございません。もよりの
 駐車場(有料)は城址公園地下駐車場です。

富山市佐藤記念美術館

〒930-0081 富山市本丸1-33(富山城址公園内)
 TEL.(076)432-9031 FAX.(076)432-9080

